保　証　書

品　名	ネギスライサー
型　式	SW-820B
お買上日	年　月　日
保証期間	1　年
お客様の住　所	
お名前	
販売店名住　所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

1. 保証期間内は無料修理いたします。
   ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
   ・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
   ・落下・火災・地震など天災地変による故障。
   ・消耗部品の交換。・保証書のないもの。
2. 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
3. 保証書は紛失されても再発行いたしません。
4. 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
   (This warranty is valid only in japan.)
5. 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション
●お客様窓口　TEL 0594(32)1131
〒511-0944　三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

アフターサービスについて

- ●保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- ●保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- ●万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- ●詳細は保証書をお読みください。
- ●保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口　TEL 0594(32)1131

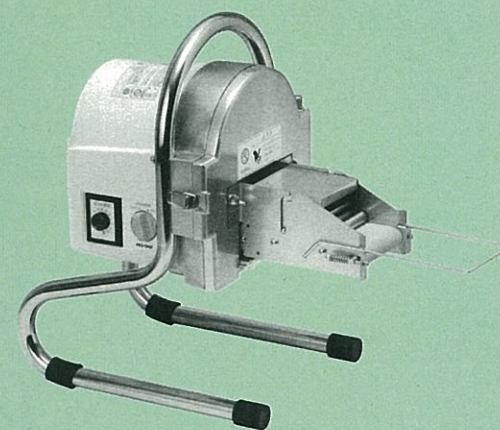
フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東　京／TEL 03 (5833) 9968　大　阪／TEL 06 (6788) 2251
名古屋／TEL 0594 (32) 1130　福　岡／TEL 092 (474) 1312

R70 古紙配合率70%再生紙を使用
環境保護のため、この取扱説明書は再生紙を使用しております。
10.03

ネギスライサー

取扱説明書

ネギスライサー

型式／SW-820B

●このたびは、プロシェフ ネギスライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
●お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

もくじ

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を(梱包箱と共に)連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)

アース端子付コンセント使用のとき

アース線を確実につなぐ

アース工事

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁止

⚠ 警告

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

水掛け禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁止

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

禁止

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物の交換・刃物研ぎ・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

改造禁止

運転中にフタを開けたり、送り装置、排出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

禁止

送り装置を外した状態・ウエイトを外した状態では絶対に運転しないこと

ケガの原因になります。

禁止

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。

漏電連絡

刃物の取扱には、必ず手袋を着用し、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

禁止

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

ネギを補充するときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にしてから行なうこと

ケガの原因になります。

禁止

⚠注意

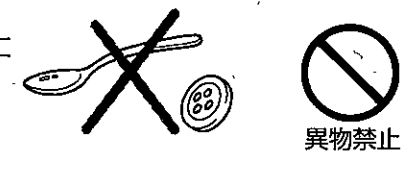
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

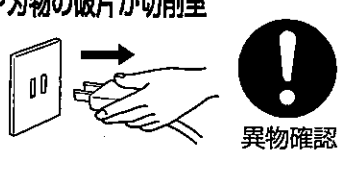
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

投入口に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

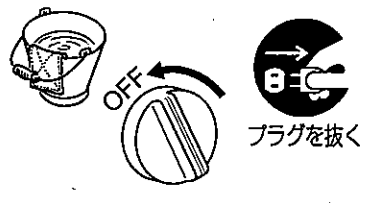
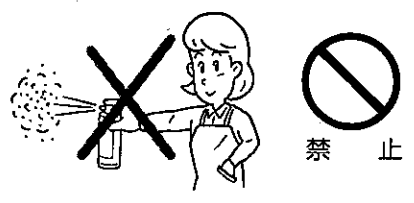
運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・割箸など）や刃物の破片が切削室の中にないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。

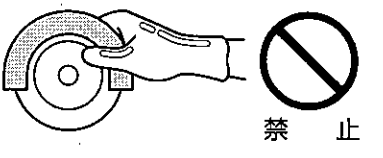
掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

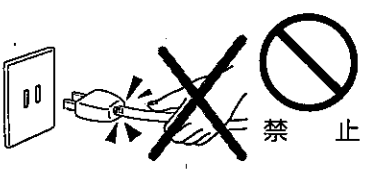
思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

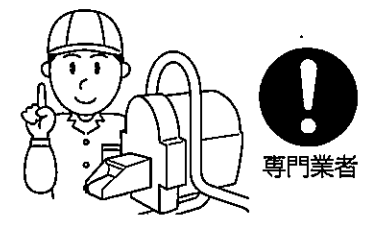
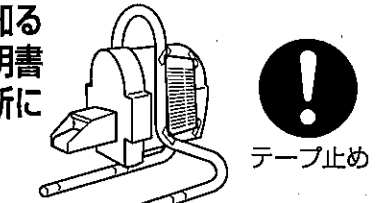
禁止

刃物の取り外し・取り付けのときは必ず付属の刃物カバーを被せ、必ず刃物を持つこと

刃物カバーを持つと刃物が落下し、ケガをします。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

１日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

切削室及び送り装置は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

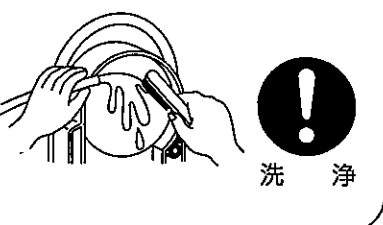
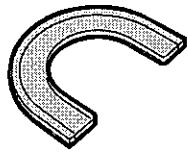
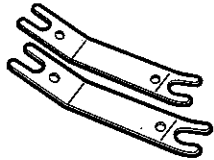
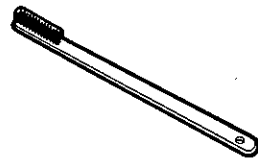
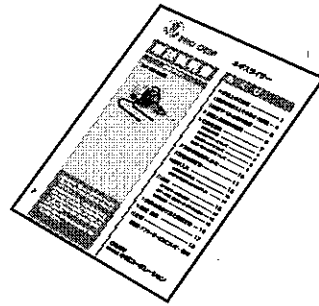
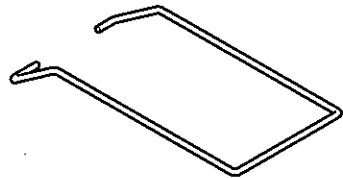
各部のなまえとその働き

■使用目的

●ネギの輪切りに使います。

細

粗

■本体

■付属品

刃物カバー/赤（1個）　スパナ（2個）　竹ブラシ（1個）　取扱説明書（本書）

延長アーム（1個）

■注意ラベルの貼付位置

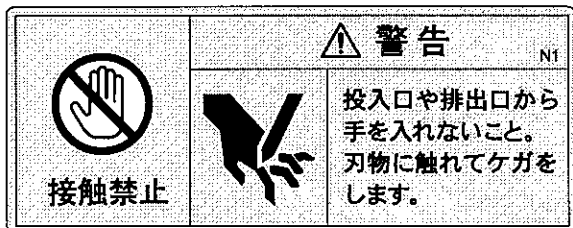
お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：PLラベルN1 740

⚠警告　N1

接触禁止

投入口や排出口から手を入れないこと。刃物に触れてケガをします。

（本体前面に貼ってあります）

品名：PLラベルE2 729

⚠ 警　告

よく読む：この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解して下さい。

プラグを抜く：掃除のときなどフタを開けるときは、電源プラグを抜くこと。

接触禁止：投入口から手を入れないこと、刃物に触れてケガをします。

ボルト確認：送り装置の取り付け用蝶ボルトがゆるんでいないことを確認すること。ゆるんでいると切削したネギの中に落下する場合があります。

お願い
- 「フタを開けた時」「コンベアーを外したとき」に再度フタを閉める時に閉まらない場合があります、この時には、コンベアーを少し手で廻しますとフタが正規の状態で閉める事ができます。絶対に無理に閉めないで下さい。無理に閉めると故障の原因になります。
- 刃物取付ナットは、文字側を手前にして取り付けて下さい。逆に取付すると、刃物が確実に固定できず、故障の原因になります。

（本体上面に貼ってあります）

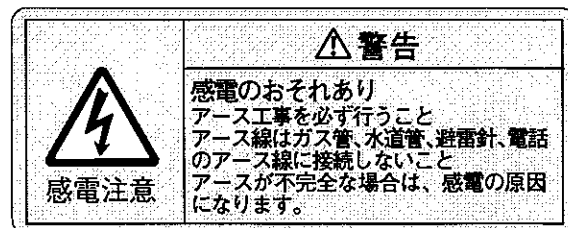
品名：PLラベル／カンデン 702

⚠警告

感電注意

感電のおそれあり
アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

（本体側面に貼ってあります）

設置と運転前の確認

■設置

⚠警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁　止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

⚠注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

禁　止

■運転前の確認

- **周囲温度10～40℃でお使いください。**
  使用温度範囲は周囲温度10～40℃です。この温度範囲以外では、正常に動作しないことがあります。
- **電源は交流100Vに接続してください。**
  使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- **初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室内・ベルトなどに入っている恐れがありますので掃除をしてください。** （P.13のお手入れ参照）

■その他

- 本体を運搬するときは、とって部分を持ってください。
- 地域によっては、イベント等屋外での使用が許可されない場合がありますので、当該機関（保健所等）までお問い合わせください。

ご使用方法

⚠警告

運転中にフタを開けたり、送り装置、排出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

ネギを補充するときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にしてから行なうこと

ケガの原因になります。

禁止

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

送り装置を外した状態・ウエイトを外した状態では絶対に運転しないこと

ケガの原因になります。

禁止

⚠注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・割箸など）や刃物の破片が切削室の中にないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。

異物確認

投入口に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

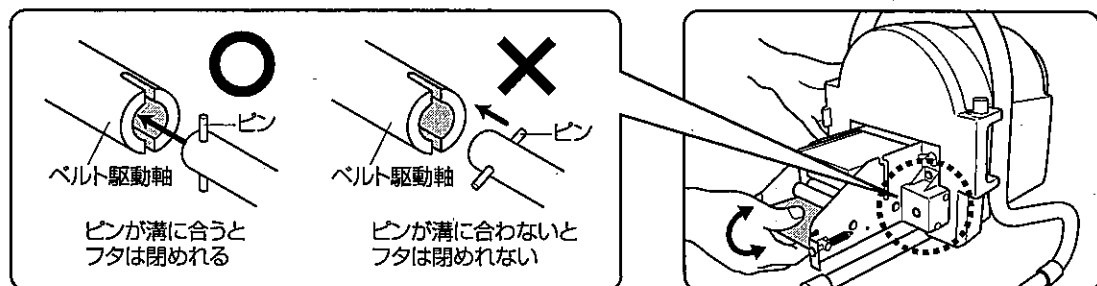
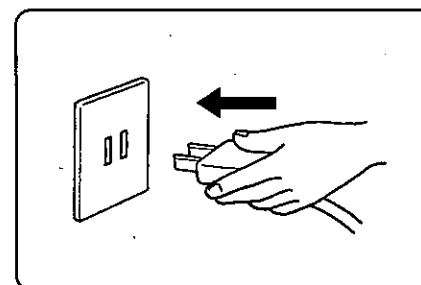
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

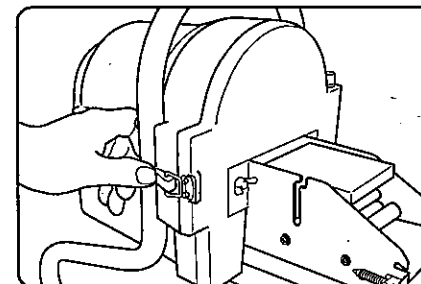
異物禁止

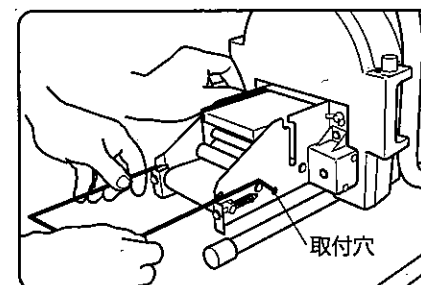
お願い

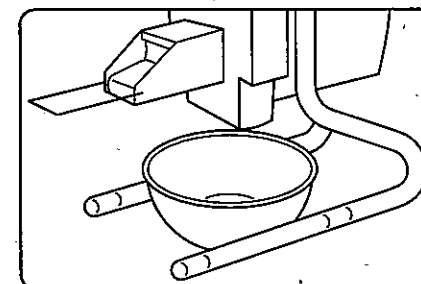
● 「フタを開けたとき」「送り装置を外したとき」に再度フタを閉める時、閉まらない場合があります。この時は、送り装置のベルトを手で少し回すとフタが正規の状態で閉める事が出来ます。（下図参照）
絶対に無理に閉めないでください。故障の原因になります。

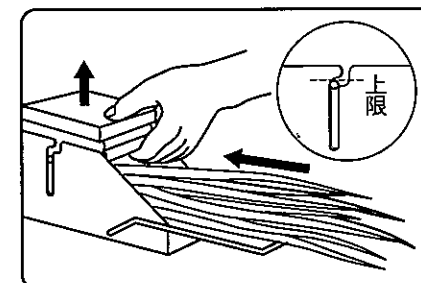
ピンが溝に合うとフタは閉めれる

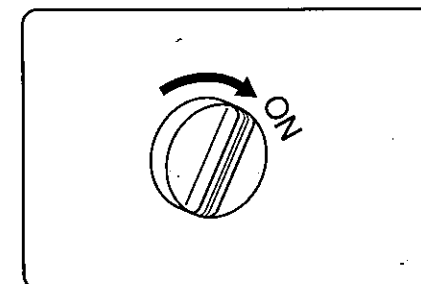
ピンが溝に合わないとフタは閉めれない

■運転の手順

1 電源プラグを差し込む。

●電源スイッチがOFF（切）になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2 切削室フタを閉める。

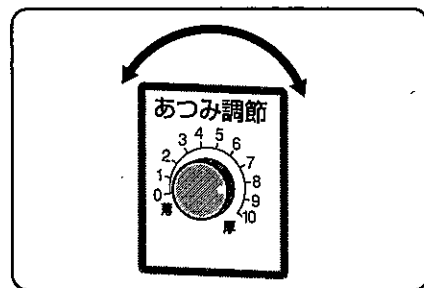
●フタを閉め、フックで確実に止める。
・確実に閉めないと、スイッチをON（入）にしても安全スイッチが作動し、製品が動きません。
・フタが閉まり難いときは無理に閉めず、P.7お願いを参照してください。

3 送り装置の確認をし、延長アームをセットする。

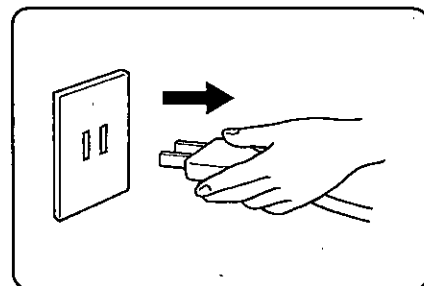
●切削室フタに送り装置が蝶ボルトでしっかりと固定されていることを確認してください。
●延長アームを軽く開き、送り装置の取付穴に取り付けてください。ネギが垂れ下がらずスムーズに送り込めます。

4 ネギと容器を準備する。

●ネギは砂や土などを洗い流し、根を切り取ります。また、しおれたものや枯れたものは取り除いてください。
●スライスされたネギを受けるボールなどの容器を排出口の下に置いてください。

5 ネギを投入口に入れる。

●ウエイトを持ち上げベルトとの間に入れ、挟み込んでください。
●ウエイトを持ち上げる位置は、送り装置の上に当たる位置が上限です。

6 電源スイッチを入れる。

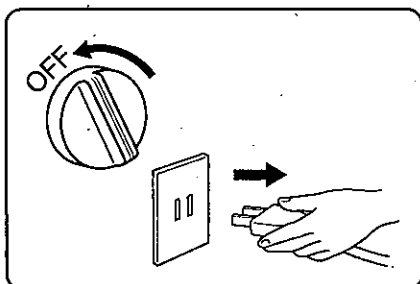
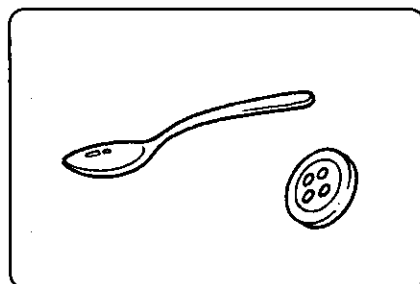
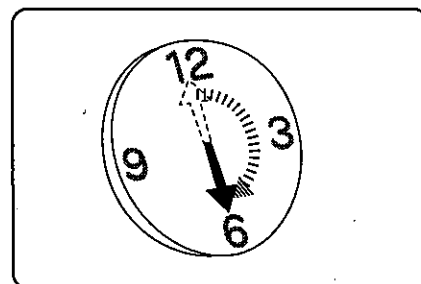
●電源スイッチをON（入）にしてください。刃物が回転し、ベルトが駆動してネギを送り込み、スライスが開始します。
※運転中に投入口や排出口から手を入れないでください。ケガの原因になります。

あつみ調節

7 スライスの厚み調節をする。

●厚み調節つまみを回し、お好みの厚さに調節してください。右へ回すと厚くなり、左へ回すと薄くなります。厚み調節目盛り0～10は目安としてご使用ください。
※ネギを補充するときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にしてから行なってください。ケガの原因になります。

8 電源スイッチをOFF（切）にし、使用後は電源プラグを抜く。

●電源スイッチをOFF（切）にしてください。スライスを停止します。
●一日の営業が終わったら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■プロテクターについて

●本製品は、定格時間が「25分」です。それ以上連続使用するとモーターが過熱し、プロテクターが作動して製品が停止します。また、負荷がかかり過ぎたときにも同様に製品が停止します。
●プロテクターはモーターに内蔵しております。
●作動したときは、次の処置をしてください。

1 電源スイッチをOFF（切）にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

2 過負荷の原因を取り除いてください。ネギ以外の異物（スプーン・つま楊枝・割箸など）を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。

3 30分放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰いたします。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

●運転中に切削室フタを開けると危険防止のため、安全スイッチが働き、製品が停止します。
●安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

■送り装置のベルトの張りについて

●送り装置の先端部の左右についているベルトの張りを調節するテンションボルトは、工場出荷時に調整済みですので、絶対に触らないでください。故障の原因になりますのでご注意ください。

刃物の交換のしかた

⚠警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

禁止

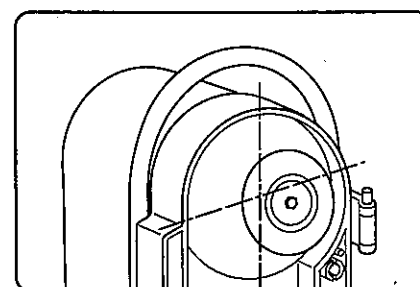
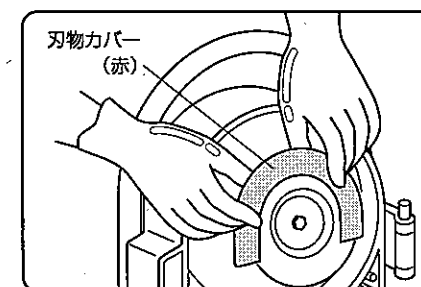
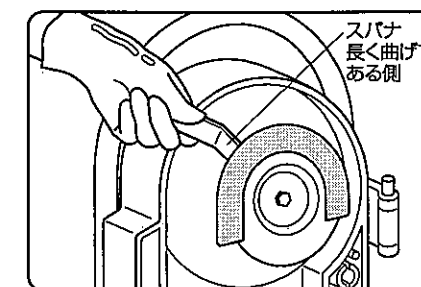
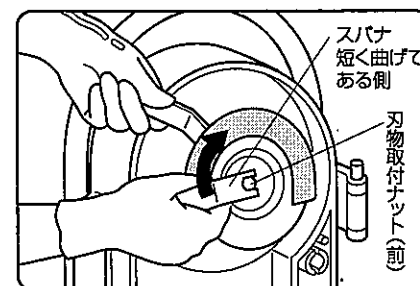
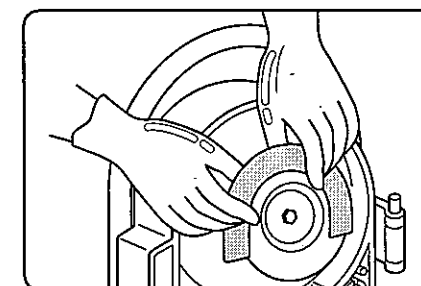
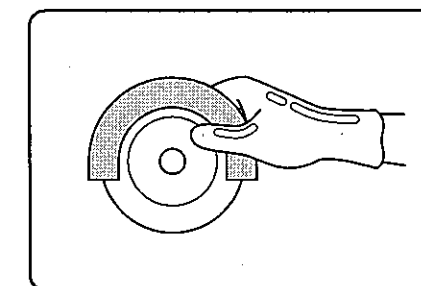
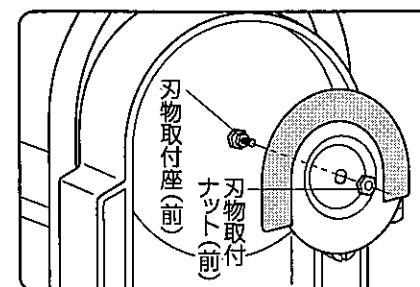
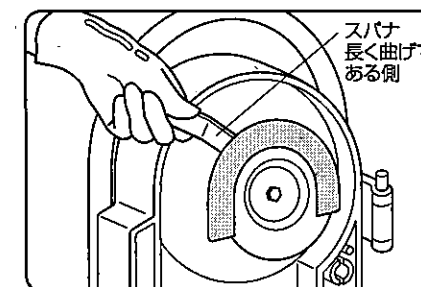
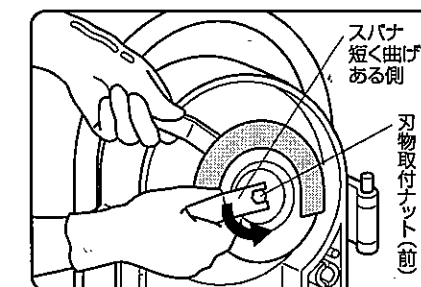
⚠注意

刃物の取り外し・取り付けのときは必ず付属の刃物カバーを被せ、刃物を持つときは必ず刃物を持つこと

刃物カバーを持つと刃物が落下してケガをします。

禁止

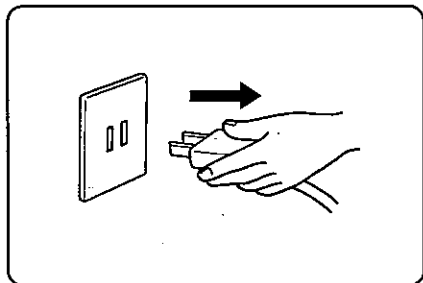
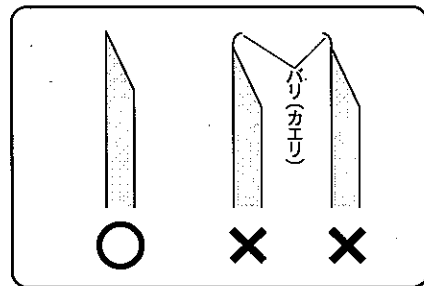
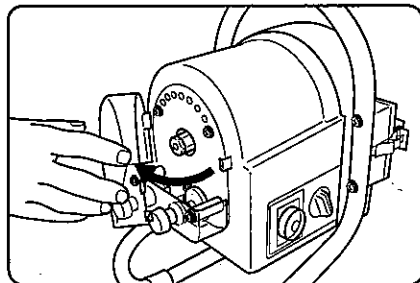
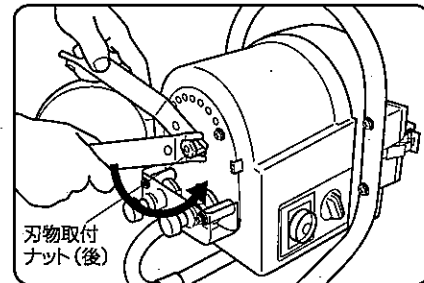
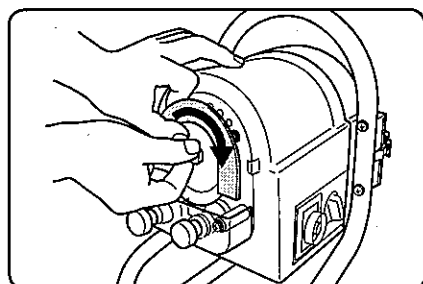
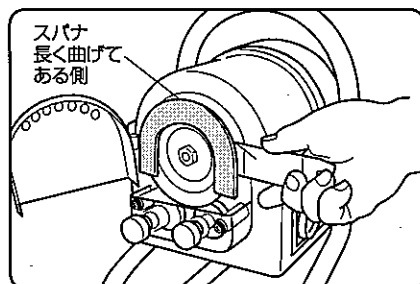
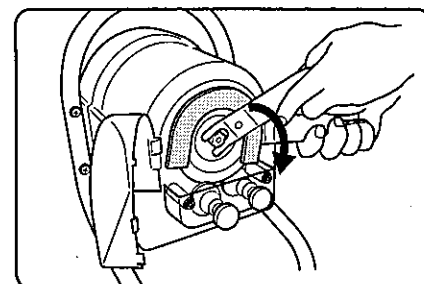
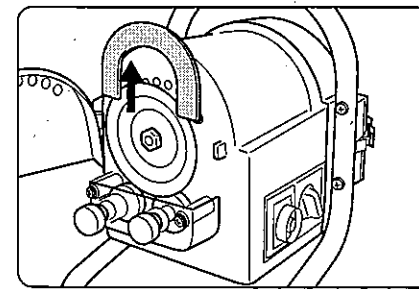
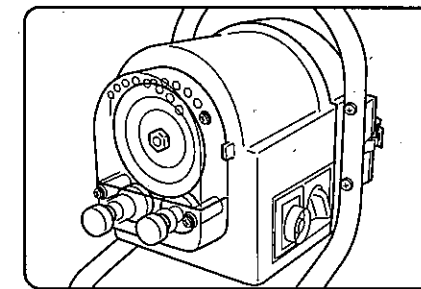
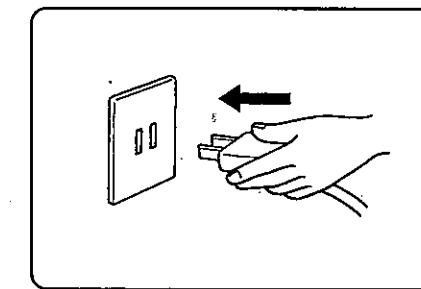
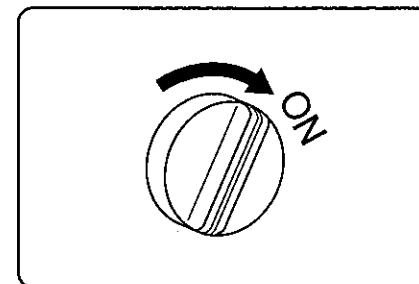
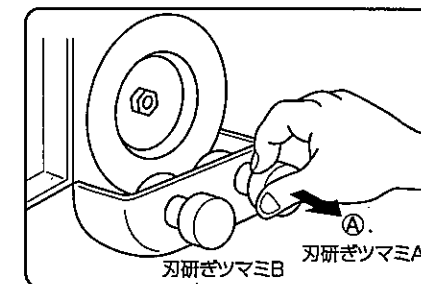
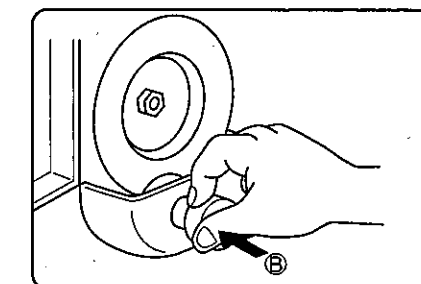
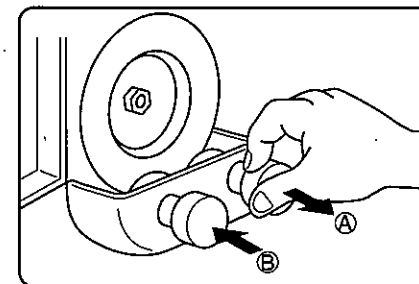
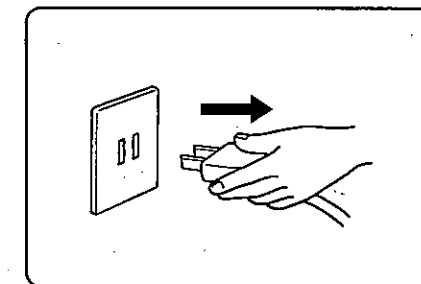
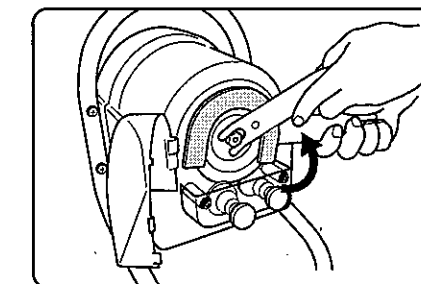
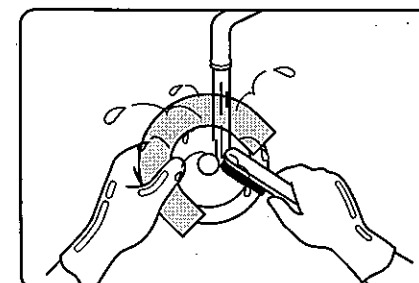
■刃物の取り外し・取り付け方

ご注意 ●刃物取り付けナット（前）は、「ゆるむ」「しまる」の文字を手前にして取り付けてください。逆に取り付けると刃物が固定出来ず故障・ケガの原因になります。

1 刃物を切削室の右下の位置にしてください。（図参照）

2 刃物に付属の刃物カバー（赤）を被せてください。

3 付属のスパナの長く曲げてある側を刃物の裏側に差し込んでください。

4 もう1本のスパナの曲げの短い側を刃物取付ナット（前）に差し込み、時計方向に回し緩めてください。

5 刃物カバーの上方から刃物を持ち、ナットを外してください。刃物カバーは持たないでください。刃物が落下してケガをします。

6 新しい刃物に刃物カバー（赤）を被せてください。

7 刃物を刃物取付座（前）にはめ込み、刃物取付ナット（前）を仮止めしてください。

8 付属のスパナの長く曲げてある側を刃物の裏側に差し込んでください。

9 もう1本のスパナの曲げの短い側を刃物取り付けナット（前）に差し込み、反時計方向に締め付けてください。

刃物の研ぎ方

⚠ 警告	⚠ 注意
切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと ケガの原因になります。 禁止	**刃物の取り外し・取り付けのときは必ず付属の刃物カバーを被せ、刃物を持つときは必ず刃物を持つこと** 刃物カバーを持つと刃物が落下してケガをします。 禁止

ご注意

- 刃物取り付けナット（前）（後）は、「ゆるむ」「しまる」の文字を手前にして取付けてください。逆に取り付けると刃物が固定出来ず故障・ケガの原因になります。
- 刃物を研磨するとき、砥石を強く押し当てたり、長時間押し当て続けないでください。刃物に熱が発生して切れ味が悪くなることがあります。
- 刃物を研磨した後、刃先にバリ（カエリ）がないか確認してください。バリ（カエリ）があると、切れ味が良くなりません。（右図参照）

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 研磨装置のフタをあける。

3 刃物取り付けナット（後）を付属のスパナで反時計方向に回して取り外してください。

4 刃物カバーを付けた刃物を刃物取り付け座（後）にはめ込み、刃物取り付けナット（後）を手で仮止めしてください。

5 付属のスパナの長く曲げてある側を刃物の裏側にはめ込んでください。

6 もう1本のスパナを刃物取り付けナット（後）にはめ込み時計方向に回して締め付けてください。

7 刃物から刃物カバーを外してください。

8 研磨装置のフタを閉めてください。

9 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

10 電源スイッチをON（入）にしてください。（刃物回転開始）

11 刃研ぎツマミAを手前に軽く引き、砥石を刃物に2～3秒、5～6回当ててください。

12 刃先のバリ（カエリ）を取るために、刃研ぎツマミBを軽く押し砥石を刃物に1～2秒、2～3回当ててください。

13 刃物の摩耗具合により11・12を2～3回繰り返してください。

14 電源プラグをコンセントから抜いてください。

15 刃物を刃物研磨装置から取り外してください。

16 研磨後の刃物には、研磨粉が付着しておりますので、刃物を洗浄してください。

お手入れ

⚠警告

製品に直接水をかけたり、製品を水の中に沈めたりしないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

水掛け禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

送り装置を外した状態・ウエイトを外した状態では絶対に運転しないこと

ケガの原因になります。

禁止

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

禁止

⚠注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。また、製品が動き出して、ケガの原因になります。

プラグを抜く

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

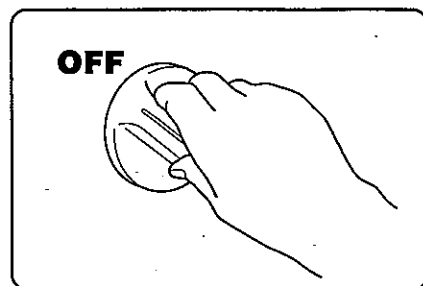
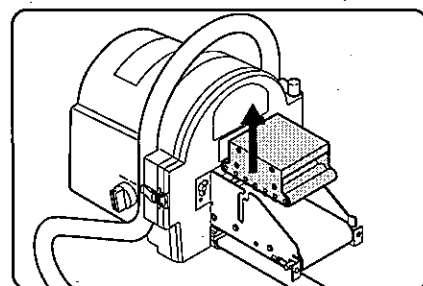
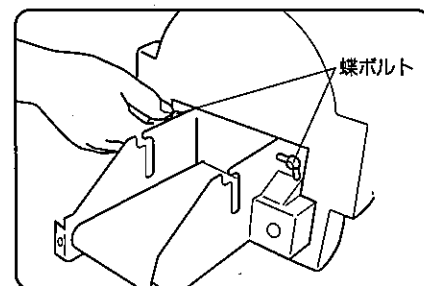
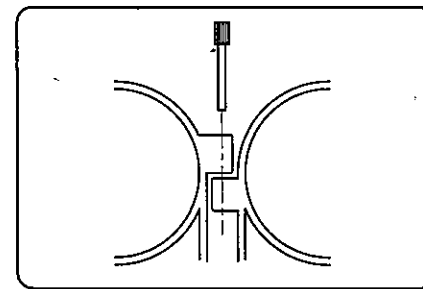
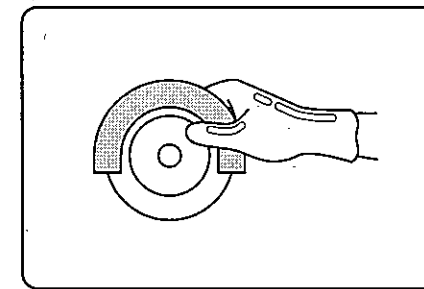
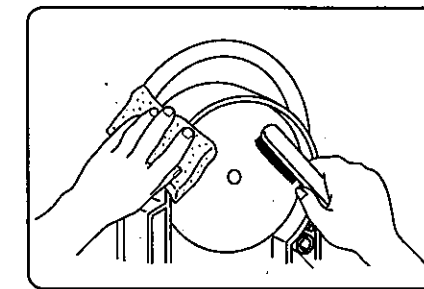
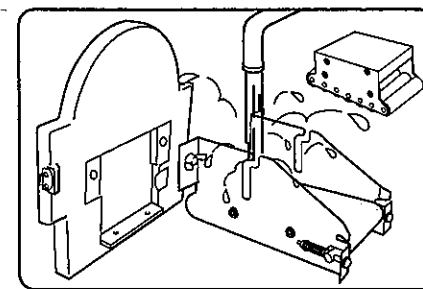
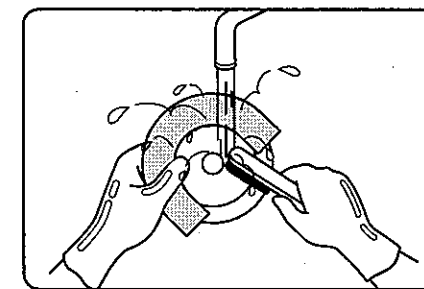
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁止

お願い

- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチック面をいためますので、つぎのようなものは使わないでください。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜塩素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

●ご使用後は必ずお手入れをしてください。野菜が腐り衛生的に非常に悪くなります。

1 電源を切る
電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 ウエイトを外す
上に持ち上げると取り外せます。

3 送り装置を外す
2本の蝶ボルトを取り外すと、送り装置が外れます。

4 切削室フタを外す
フタを開け、ピンを抜いてください。フタが取れます。

5 刃物を外す
必ず手袋を着用してください。刃物を付属の工具を使用して外してください。
（P.10参照）

6 切削室の清掃
付属のブラシ、湿らせたスポンジ等で汚れを取り除き、乾いた布で水気を拭き、よく乾燥させてください。
※水を直接掛けて洗わないでください。漏電・故障等の原因になります。

7 フタ・送り装置・ウエイトの洗浄
水道水で洗い流し、乾燥した布で水気を拭きよく乾燥させてください。

8 刃物の洗浄
刃物に刃物カバーを被せて水洗いし、乾いた布で水気を拭いてください。

■汚れが目立つときのお手入れ（本体外面）

- 中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布巾で拭いた後、洗剤分が残らないように水を含ませた布巾で拭き取ってください。

点検

■1年に1～2回の点検

⚠警告

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

アース線の点検

●アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

⚠警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物の交換・刃物研ぎ・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

改造は絶対に行わないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

改造禁止

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切ってすぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

お願い ●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現　　象	お調べいただきたいところ	処　置　方　法
切削室フタが閉まらない	●駆動軸は噛み合っていますか？	●駆動軸の噛合いを合わせる。（P.7参照）
刃物が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？ ●プロテクターが作動していませんか？ ●切削室フタが開いていませんか？	●コンセントに差し込んでください。 ●プロテクターの項。（P.9参照） ●切削室フタを閉める。
送り装置が動かない	●あつみ調節つまみが最小の位置になっていませんか？	●あつみ調節つまみを右に回してください。
切れない	●刃先が摩耗していませんか？ ●刃先にネギの乾いた汁が付着していませんか？	●刃物を研ぐ。（P.11参照） ●新しい刃物と交換する。
刃物とフタが接触する	●刃物取り付けナット（前）がゆるんでいませんか？ ●刃物を固定する軸がぐらぐらしていませんか？（長期間ご使用の製品で生じることがあります。）	●刃物取り付けナット（前）をしめてください。（P.10参照） ●ただちにご使用を止めて販売会社または最寄りの当社営業所へご連絡ください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること

テープ止め

■廃棄

⚠注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

専門業者

仕様

品名	ネギスライサー
型式	SW-820B
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	80/80W
定格時間	25分
質量	12kg
外形寸法	幅258×奥行562×高さ426㎜（奥行は延長アームを含む）
切削厚さ調節範囲	1～5㎜